

重点整備地区の内、令和 5 年度に見直しを行う地区について（案）

令和 4 年度については堺駅・堺東駅周辺地区について評価・見直しを実施します。

現時点では、複数の重点整備地区を一括して評価・見直しをするための手法などを確立している状況ではないため、少なくとも令和 5 年度は個別に評価・見直しの取組を進める必要がある。ついては、令和 5 年度に見直しを行う地区について検討する。

1 令和 5 年度に評価・見直しを行う必要がある地区

■バリアフリー化設備の整備計画に合わせて、評価・見直しが必要な重点整備地区

| 地区                        | 理由   |
|---------------------------|--|
| 南海高野線中百舌鳥駅・大阪メトロなかもず駅周辺地区 | ●両駅とも乗降客数が多く、特に大阪メトロなかもず駅に関しては、乗降客数が市内で最も多い。<br>●南海高野線中百舌鳥駅において、可動式ホーム柵の整備計画があるため。 |

【参考】

「バリアフリー法に基づく基本方針における次期目標について（最終とりまとめ）（令和 2 年 11 月）」のうち、本市の各重点整備地区の評価・見直し等に関連するもの

|       | 項目                           | 国の目標（おおむね 5 年間）   |
|-------|------------------------------|---|
| 鉄軌道駅  | 段差の解消                        | 3,000 人以上/日の施設及び基本構想の生活関連施設に位置付けられた 2,000 人以上/日の施設を原則 100%                                |
|       | 視覚障害者誘導用ブロック                 |   |
|       | 案内設備                         |   |
|       | 障害者用トイレ                      |   |
|       | ホームドア・可動式ホーム柵                | 駅やホームの構造・利用実態、駅周辺エリアの状況などを勘案し、優先度が高いホームでの整備を加速化することを目指し、全体で 3,000 番線うち、10 万人/日以上駅は 800 番線 |
| 道路    | 重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路     | 約 70%   |
| 都市公園  | 園路及び広場                       | 規模の大きい概ね 2ha 以上の都市公園を約 70%  |
|       | 駐車場                          |   |
|       | 便所                           |   |
| 路外駐車場 | 特定路外駐車場                      | 約 75%   |
| 建築物   | 2,000 ㎡以上の特別特定建築物            | 約 67%<br>※公立小学校等については、文科省において目標を定める。（現時点で未定）  |
| 信号機   | 主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等 | 原則 100%   |
|       | 音響機能付加信号機                    | 主要な生活関連経路を構成する道路のうち、道路又は交通の状況に応じ必要な部分に設置されている信号機については原則 100%                              |
|       | エスコートゾーン                     |   |

※目標：国が省令により定めるそれぞれの移動等円滑化基準を満たす整備が完了している割合